

めっき業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
4	10～11	品物が倒れないようにゴムをかけていたが、そのゴムが切れて体に当たり、飛ばされてしまい、隣にあったパレットに足が引っ掛かって転んで手をついた際、左手首を骨折した。	58	1～9
5	19～20	出張工事にて、作業現場から宿泊先のビジネスホテルへ帰宅中、ホテルに着いて荷物を持って車を降り、ホテル建屋へ向かう途中、足元が見えず階段下の段差で足を滑らせて転んだ。	42	1～9
6	14～15	会社工場内にて移動中、地面に置かれていた金属製のカゴに入っている鉄の棒（長さ1m程度）に靴紐を引っかけてしまい、その場で転倒した。その際、左肘を地面にぶつけてしまう。その時は特に痛みは大きくなかったが、2週間程してから、左足（特に膝）に強い痛みを感じるようになった。	49	10～29
9	16～17	クレーンのリモコンを両手で持ちながら、H鋼からトロッコに移動しようと片足を乗つけた際、結束用のチェーンを踏んでしまった。それと同時に他の作業員がまわりの状況を確認せずにそのチェーンを引っ張ったため、チェーンと一緒に片足が引っ張られ転び、左大腿二頭筋を損傷した。	45	30～49
11	11～12	工場に入ってすぐの通路で工場の外にあった台車にのったプラスチックの箱（50×33×16cm）を作業場内に入れる時、ドアのレールに躓いて転び作業場のガラス戸に手をつき左手をガラスで切った。	59	1～9
11	15～16	工場製品置場にて、仕分け作業をしている際に、リフトが近付いてきたので避けようとしたところ、近くにあったパレットに躓き転倒した。転倒の際、左手首を地面についた。手首の痺れを感じたので30分程様子を見たが、痛みが強くなったの	73	100～299

		で診察を受けたところ骨折が判明した。		
11	9~ 10	トラックの荷台の上で、製品の積み降ろし作業をしている時に、製品を持ち上げようとしてバランスを崩し、倒れた際にトラックのあおりで脇腹を強打し打撲した。本人が単純な痛みと判断し、翌日まで作業したが、その後も痛みが引かず受診し骨折と判明した。	22	10 ~ 29
12	16~17	脚立に上って複合タンクを整備中、バランスを崩し転倒し、右踵を骨折したものである。	53	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html